



三原中だより

平成28年度 第2号
発行 平成28年5月24日
八丈町立三原中学校

「災害に思うこと」

校長 大澤 道明

熊本県を中心に大きな被害が出た大地震から約一ヶ月が経ちます。現在、ほとんどの小中学校は再開しましたが、地域住民の多くの方々は今も避難生活を余儀なくされています。余震は今も続いており、被災者の方々の心身が休まる日はいつになったら来るのか・・・祈る気持ちで一杯です。

皆さんは直接の地震が原因ではなく、避難生活中に沢山の人が亡くなっていることを知っていますか。その原因の多くは強度の不安やストレス、運動の制限等から発症するエコノミー症候群だと言われています。日本国内に限らず世界各国からも支援の手が差し伸べられていますが、心の健康を取り戻さない限り本当の意味での復興は終わりません。今、私達に何ができるのか、皆さんも考えてみてください。

大澤の体験談から

平成23年3月11日に東北地方を襲った大地震後の5月。私は東京都の復興支援教員として、宮城県大崎市に3ヶ月間の予定で派遣されました。大崎市は海岸線ではないため、津波による被害はありませんでしたが、道路は歪み、建物の多くが崩壊しました。私が派遣された学校は古川東中学校という生徒数600人を超える大規模校でした。東中学校には私を含めて4名の教員が派遣されました。東中学校の校舎は大きく傾き、プールは、まるで大きな力で踏みつぶされたかのような状態でした。そのため生徒達は、被害の少なかった周辺の3つの中学校の校舎の一部を間借りし、学年別で授業を行うことになったのです。私は中学1年生の保健体育担当でした。1年生の仮校舎は古川南中学校。東中学校の生徒とは随分と雰囲気が異なり、ヤンチャな生徒が多数在籍していました。交流は深めたいものの、無意味な接触を事前に防ぐことにも気を回す必要があったことが残念でした。1年生は、私が派遣され初めて保健体育の授業がスタートしました。しかし、南中学校の校庭と体育館は使用できません。教育委員会に要望した結果、近くにある小学校の校庭の一部と、空いている時の体育館を借りることができたのです。本当に良かったのですが、小学生に迷惑を掛けないため、毎朝、小学校に行って時間割調整が必要でした。日によっては急に予定が変わります。そんな条件でも、生徒達は運動ができる喜びをかみしめているかのように見えました。普通に走ったり跳んだりすることがこんなにも嬉しいことなのかと。心が痛くありませんでした。スポーツテストにも、喜びを感じながら取り組みます。避難訓練を予定していたある日のこと、訓練予定時刻の10分前に突然の大きな揺れ！“余震発生”でした。訓練は10分前倒して実際の避難となったのです。この頃の宮城県は毎日のように余震があり、今の熊本県のように不安定な日々が続いていたのです。避難時、生徒達は一言もしゃべらず黙々と点呼を行い、担当の先生の話真剣に聞き、常に、いざという時のことを想定していました。その後、生徒達を観察していると、笑顔の奥にある不安げな眼差しに気が付きました。心の底からは笑っていません。生徒に限らず、近隣の方々も一緒です。不安払拭はまだまだだったのです。みんな私達と話をするときには屈託のない笑顔を見せてくれます。でもそれは、私達に感謝を伝えるため。そんな心の傷を感じた私達派遣教員4名は、みんなの不安を少しでも振り払うため、それまで以上に必死で頑張ったことを思い出します。みんなの心の底からの笑顔を取り戻すために。

夏休みに入りプレハブの仮校舎が完成しました。やっと全校生徒が一つの学び舎で勉強できます。「プレハブであっても、本当に幸せだ！」と話す先生や生徒達と一緒に、約1週間掛けて引越しを終わらせ、私の短い派遣期間が終了しました。東京に戻った後も、行事や復興に関するイベントがあるたびにお誘いの案内が来ましたが、一度も行くことができませんでした。申し訳ない気持ちで一杯です。当時の中学1年生は現在高校2年生。ようやく今年の夏休みに、当時のPTA会長や生徒達と5年振りに再会します。目の輝きを取り戻した笑顔に会えることが楽しみであるとともに、ボランティア活動をさせていただいた東松島の現在も見てくるつもりです。

八丈島も火山島です。大島や三宅島に起こったことが八丈島で無いとは言い切れません。いつも心に「いざという時の心得」をご家族と一緒に確認しておいてください。“備えあれば憂いなし”です。

～保護者・地域の皆様へ～

15日(日)開催の、小中合同「道徳授業地区公開講座」には多数の皆様にご参観をいただきました。ありがとうございました。その際、事前のご案内に不備がありましたこととお詫びいたします。

学校はいつでも開放しています。お時間がある時には、日頃の生徒達の学習活動の様子を見ていただければと思っています。その際には、校長室にもぜひお越しください。お待ちしております。

〈三原中学校の教育目標〉

人間尊重の精神を基調とし、豊かな社会の形成に貢献できる人間を育成する。

○やさしい人 ○たくましい人 ○よく学ぶ人

〈校訓〉

『紳士たれ・淑女たれ』

三原中学校ホームページ <http://www.hachijomachi-tky.ed.jp/miharachu/>

「人との触れ合い」

3学年主任 鈴木秀和

先輩方の背中を追いかけながら、試行錯誤してきた2年間。9名の新3年生は三原中学校の最上級生となり、自分たちの目標を掲げ、希望と不安を抱きながら新年度をスタートさせました。そのような中、最初の大きな行事となった修学旅行の様子をご紹介します。

出発当日は霧に包まれた三原山を眺め1便の到着を心配し、帰りは船が御蔵島から引き返すという船内アナウンスを聞いて、どのようにして八丈島へ帰ろうかと頭を抱えた修学旅行でしたが、生徒9名が元気に帰島できてホッとしています。1日17,000～23,000歩程度と、とにかく歩いた修学旅行でしたから、疲れが日々蓄積されている反面、みなさんの表情は『笑顔』という印象が強かった旅でした。

『歴史・文化を学ぶ』『平和について考える』『自主的な行動と協調』『友情を深め思い出をつくる』という4つのねらいを、生徒一人一人が体験的な活動を通じながら学び、成長する過程を4泊5日の中で見てきました。更に、三原中3年生が素晴らしいと感じたのは、色々な方々に「かわいがられる」というところです。見学先・宿泊先での態度や挨拶などから、「素晴らしい生徒さんですね。」「かわいい子供たちですね。」という言葉がたくさんいただきました。ほんのわずかな時間の中でも、お世話になる方々との触れ合いの中で、相手の思いを真剣に聞き入れる誠実さ、心の声を素直に表現する純真さが伝わったのだと思います。

義務教育最後の年。更に自分たちの魅力に気付き、自分たちなりのアプローチで三原中学校を引っ張って行く姿を期待しています。



「1・2年合同遠足を終えて」

1年担任 久保 淳

三原中学校に入学して初めての大きな行事がこの合同遠足でした。始めは何をしてよいのかほとんど分からない1年生でしたが、2年生の先輩たちのリーダーシップのもと、それぞれの役割をしっかりと果たすことができましたと思います。合同遠足が終わった後の感想では、「先輩がいろいろ教えてくれた」「いろいろな人と交流できた」などがあり、とてもよい活動になったようです。来年の合同遠足では、今の1年生が中心になります。今の2年生のように、後輩から慕われる先輩となった姿を楽しみにしています。

「みんなで協力した遠足」

2年担任 塩生俊二

先輩として迎えた今年の合同遠足の目標は、「1年生との交流を図りながらみんなで協力する」でした。2年生になって一回り成長した13名は、その目標を達成できたように思えます。特に班長になった4名は事前の班長会議でも、いかにみんなが楽しめるかを視点にレクを企画し、当日も集団の中心となって運営してくれました。また、班長以外の2年生もバーベキューで1年生に指示を出しつつ、自ら率先して動き、スポーツレクでは周りに気を遣いながらも存分に楽しんでいました。どの生徒も満足感にあふれた表情で合同遠足を終えることができ、これからの学校生活でも協力していけると期待できる行事となりました。



懐かしい声が届きました♪

【現 足立区立第1中学校 武田 真男 校長先生】

島を離れてから早1ヶ月が過ぎました。少し落ち着いてくると、八丈のことを思い出し、三原小中学校全児童生徒による「島に生まれて」の合唱を聞きたいなあと考えています。保護者、地域の皆様、副校長で3年、校長で4年、計7年。三原中学校で、そして坂上地域で大変お世話になりました。感謝の気持ちで一杯です。ありがとうございました。この度、足立区立第一中学校に異動しました。自宅から約50分かけて通勤し、7時過ぎに学校に入り、7時40分から「朝ランニング部」の生徒と先生と一緒に8分間走をやっています。うっすら汗ばんで毎日気持ちよい朝を迎えています。校長室の窓から見えるスカイツリーもお気に入りです。一中生は、礼儀も元気も歌声も三原中生に負けていませんよ。何かを通して交流できるといいですね。

10月の合同運動会で皆様にお会いできること、そして児童生徒の皆さんの元気な姿を拝見できることを楽しみにしています。

【現 八丈町立富士中学校 理科 川畑 喜照 先生】

三原中のみなさん お久しぶりです。三原中を離任してから1ヶ月半が過ぎようとしています。富士中理科室から底土方面の海が見えますが、三原中から眺めた青ヶ島に見える海を懐かしく感じます。

三原中生のいいところは、素直なことや気持ちよく動いてくれるところ。自分たちの良さを大切にして、より多くのことを吸収し、高いところを目指して頑張ってください。富士中生も基本的には同じ感じですが、人数が多く校舎が狭いのが大きく違います。まだ狭い空間に慣れずに戸惑うことも多いのですが、三原中でのことを糧に頑張っていこうと思います。三原中では、いろいろありがとうございました。

【現 大田区立 大森第3中学校 家庭科 鈴木えりこ 先生】

三原中のみなさんお元気ですか。私は、慣れない生活の中で大変なこともあります。毎日わくわくした気持ちで生活しています。

修学旅行で再会した3年生は、変わらない明るさに頼もしさが加わっていました。きっと2年生も、ドキドキしながら先輩として頑張っていることでしょう。1年生は中学校生活に慣れてきましたか。ぜひ、たくさんの方に挑戦してくださいね。

八丈島での生活を振り返ると、何事にも一生懸命な生徒のみなさんやあたたかい地域の方々と、心安らぐ自然の中で過ごすことができ、本当に幸せな3年間でした。ありがとうございました。毎日生活しているとあたりまえに感じるかもしれませんが、どれもかけがえのないものです。1日1日を大切に、充実した生活を送ってくださいね。これからも、みなさんのご活躍を心から祈っています。

〈6月の主な行事予定〉

日	月	火	水	木	金	土
5/29	5/30 朝礼 教育実習(始)	5/31	6/1日 職員会議	2日	3日	4日 開校記念日 漢字検定 (大賀郷中)
5日	6日 朝礼 安全指導	7日 専門委員会	8日 小中合同避難 訓練、 歯科検診 合同研修会 SC勤務日	9日	10日	11日 英検 (大賀郷中) 芝生 ボランティア
12日	13日 朝のつどい SC勤務日	14日	15日 期末考査一週 間前 職員会議	16日	17日 教育実習(終)	18日
19日	20日 朝礼	21日 SC勤務日	22日 期末考査①	23日 期末考査②	24日 期末考査③ 小中交流会	25日
26日	27日 朝礼	28日 SC勤務日	29日 合同研修会	30日 定期健康診断 (終)	7/1 避難訓練	7/2

* SC勤務日：スクールカウンセラーの勤務日

お子様の様子が気になるときはいつでも学校へご相談下さい。(学校7-0057)

〈学校以外の相談窓口〉

☆八丈島教育相談所(2-0591) ☆東京都いじめ相談ホットライン(03-5331-8288)

☆東京都教育相談センター(03-3360-8008)

☆東京都児童相談センター(03-3202-4152)